

HAB@熊本 メディアスペースのご案内



株式会社パルコ

施設概要

H A B @熊本が熊本パルコの跡地に、2023年4月25日開業。

都市型ホテル「OMO5熊本」との複合開発により、新たな街のランドマークが誕生しました。

「また、ここで待ち合わせ。」をキーワードに新たな街の賑わいづくりのハブとなる施設を目指します。

<物件概要>

所在地： 熊本県熊本市中央区手取本町5番1号
 (最寄り駅：熊本市電「通町筋駅」徒歩1分)

建物所有者：三陽株式会社

建物： 商業 B1F~2F / ホテル 3F~11F

面積： 商業部分営業面積約1,000坪

※ESC、吹抜含。1フロア300~400坪

(賃貸可能面積約700坪、1フロア200~300坪程度)

<アクセス>

◆市電「通町筋駅」乗車人員：3,850人/日 (市電内2位)

※2015年度 - 熊本市電 乗車人員： 30,400人/日

◆JR「熊本駅」乗車人員： 15,375人/日 (JR九州内7位)

※熊本駅⇔物件：徒歩40分、バス&電車20分程度

◆バス4事業者 合計 69,400人/日

バスが発達しており、バス・自家用車マーケット



遊びと暮らしのハブポイント

HAB@
 【ハブアット】

4.25[®]
 OPEN

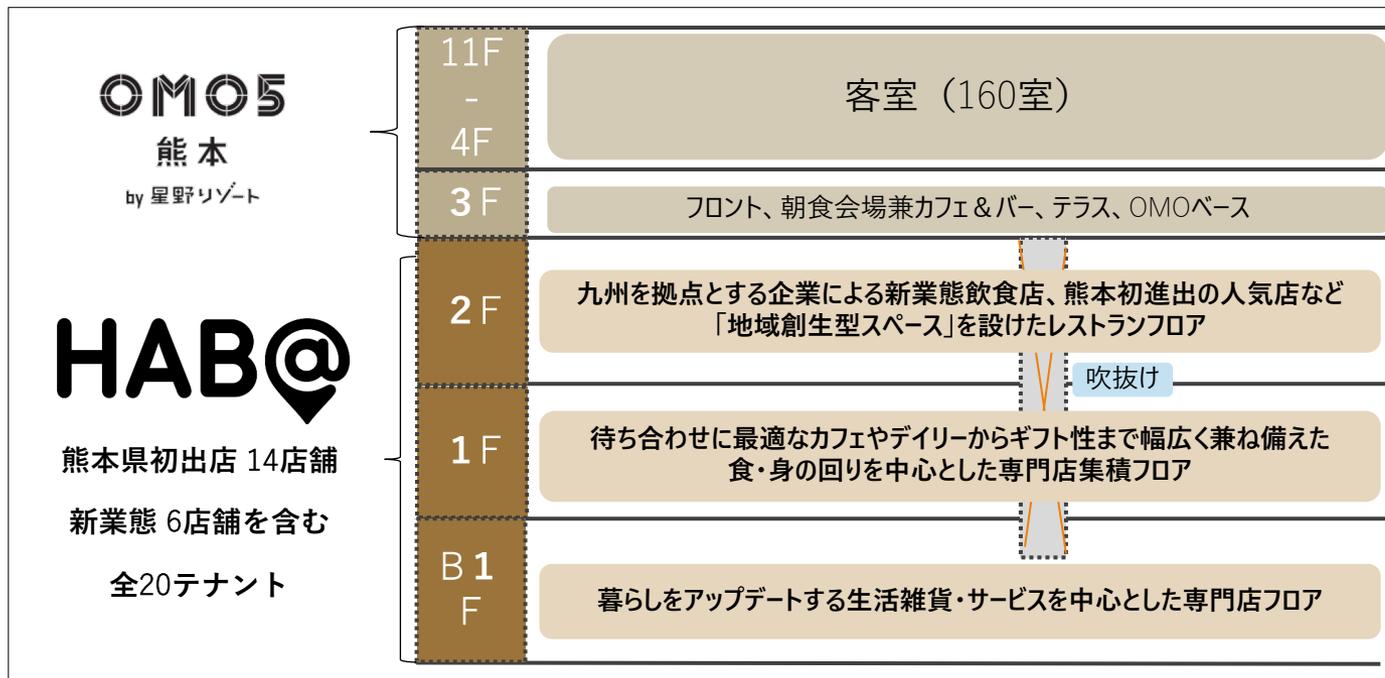


また、ここで
 待ち合わせ。

ターゲット&MD

都市的感性を持つ大人 <メインターゲット> 日常的に通勤・通学・買い物で来街する方

<サブターゲット> 1) ハレの場としての中心部に買い物・食事等で来街する方
2) 国内外の観光客



マーケット (人口・所得・世帯数他)

- ◆九州新幹線開通(2011年)、政令指定都市移行(2012年)等により 人口は安定推移
- ◆10km内に人口が集中しており、商圏人口774千人 (県人口の半数相当)

商圏データ				
10km圏	商圏人口(市人口734千人、全国18位)	15国調	774,146人	
	将来推計人口伸率	20/15	99.9%	
		25/20	100.1%	
	年代別	20代	15国調	10.9%
		30代	15国調	12.9%
		40代	15国調	13.8%
		50代以上	15国調	42.3%
	1世帯当りの年収高	※全国平均461万円	413万円	
	単身世帯比率	※全国平均32.4%	36.2%	
共同住宅世帯比率	※全国平均41.6%	50.9%		
持ち家世帯比率	※全国平均61.9%	51.5%		
世帯当たり乗用車保有台数 (都道府県)	※全国平均1.064 (16.3末)	1.314台		
合計特殊出生率 (都道府県)	※全国平均1.42、出所：18厚労省	1.69人		



長安寺通り

れす熊日会館

電車通り

屋百貨店

COCOSA

拠点位置

計画地周辺マーケット通行量

◆上通り/下通りアーケードの通行量は県内No.1

◆鶴屋百貨店は年商531億で九州3位の売上

< 通行量調査 (2019年10月熊本市実施) > (単位: 千人)

順位	地点No.	地点名	平日	土日	計
No. 1	21	ファインビル前 (=PARCO前)	30	48	78
No. 2	20	COCOSA前	30	40	70
No. 3	19	三国屋前	27	37	65
No. 4	18	カリノセカンド前	26	31	57
No. 5	26	びふれす熊日会館前	21	28	49
No. 6	10	旧パチンコプラザ前	19	26	45
No. 7	8	(仮称) 花畑広場~新市街 (≒サクラマチ前)	18	27	44
No. 8	28	ハヤカワスポーツ前	18	23	40
No. 9	MAP外	熊本駅前広場東口出口	19	18	38
No. 10	31	鶴屋本館北側入口横	15	20	35
参考 (福岡)		天神地区地下No. 1 (PARCO付近)	75	56	131
※2017年2月・3月 実施		天神地区地上No. 1 (ツリアステーン 付近)	32	39	70
		大名地区No. 1 (岩田屋本店付近)	25	30	55



※計画は2020年11月時点のものであり、今後変更になる可能性がございます。

HAB@熊本・下通アーケード側 メディアスペース 各拠点プラン



①ビジュアルシートスペース(シート貼り)

- 熊本NO.1の通行量を誇る一等地、上通・下通アーケード/電車通りの交差点[通町筋]を横断するターゲットへ、ワイドな視認性でアピールが可能です。
- サイズ:縦1500×横4300[6.5㎡]
- 料金:月額200,000円(税別/施工費別)

②デジタルサイネージ

- 静止画及び動画の放映が可能です。通行ターゲットに印象に残るアピールができます。
- 放送回数:15秒10回/1h
- 料金:月額50,000円(税別/加工作業料別)

③イベントスペース

- サイズ:横3000×奥行1000
- 料金:1週間200,000円

土日限定2日間120,000円

*注意事項:壁面のサイネージを隠すパネル設置は不可/床は傾斜有り/電源使用可/展開内容は審査があります。

参考:熊本観光客データ

観光客（流動人口） ※2018年実績

◆九州の中心に位置しアクセス良好、観光客は過去最高

- ・宿泊者数805.3万人 ※うち外国人101.3万人（いずれも九州内3位）
- ・九州各県と隣接しており、九州新幹線にて、博多まで最速33分、鹿児島まで44分
- ・西に天草、東に阿蘇があり、県内観光の拠点

◆2023年春熊本空港新旅客ターミナル完成、空港新線計画等利便性向上

- ・年間空港乗降客数：国内線321万人、国際線19万人・・・全国空港乗降客数11位
→現状国際線4路線から2027年度までには+7路線の11路線目標。
- ・鉄道新線により中心部から鉄道で最短38分まで短縮（現状約1時間）

熊本県観光データ

熊本県は九州で福岡県・鹿児島県に次いで全体観光客が多い。外国人観光客では福岡県・大分県に次いで多く全国でも17位。
県内では熊本市観光者数が最も多く、シェア43%（外国人45%）。定番の熊本城及び街中観光を中心に、阿蘇の火口見学、天草観光が人気。

現状、熊本空港は国際線4路線から2027年度までには+7路線の11路線目標。23年春に一部国内・国際線ターミナルの一体化、商業ゾーン、地域交流の場を新設しリニューアル予定。

※2018年実績

<延べ宿泊者数>

熊本県：805万人（内外国人101万人） 熊本市：350万人（シェア43%）（内外国人45万人（シェア45%）

<国籍>

韓国37% 台湾25% 香港14% 中国12% 欧米豪4% アジアの訪日外国人からの人気

<観光消費額>

熊本県：3,186億円（内外国人401億円）

宿泊費45% 飲食費18% 買い物15% 交通費16%

参考:HAB@熊本の地域連携

p-peaceプロジェクト

2F BREADAYの出店である(株)ローカルデベロップメントラボとの協業により、で熊本県内の様々な地域と熊本のまちを結ぶ企画や施策を行っています。熊本県内の地域資源を活用した新たな価値創造に挑戦し、BREADAY内のPOPUPスペースで、人や文化の交流拠点を創造しています。

<取組み概要>

地域のモノ・コト体験を通じ、新しい発見の提供。地域の作り手と受け取り手の好奇心が交差する場。

①ベーカリー&地域食材

ベーカリーは福岡で圧倒的な人気を持つ「パンストック」との業態開発→イートインスペース ドリンク提供

地域食材は熊本県内の商品をメインにセレクト→エシカル、量り売り 有機野菜 規格外の販売とセルフ加工（生絞りジュース等）

②POPUPスペース

地域のコミュニティの核となるべく、多様なイベントを開催

ex) 食の交流会（ローカル食材×生産者×シェフ）、地元の酒造メーカーとのコラボ企画、観光PR、行政連動企画 等



HAB@開業時の今年4月25日～5月には熊本市観光大使の高良健吾さんのフォトブック「悠久」制作発表を記念し、「悠久」で使用した写真約50点の展示を実施しました。

参考:星野リゾート「OMO5熊本by星野リゾート」と「凸凹テラス」概要

OMO5とは？

「OMO」は星野リゾートが全国に展開する都市ホテルブランドです。ブランドコンセプトは「テンションあがる『街ナカ』ホテル」。地域と一体となって街を楽しみ尽くす旅を追求しています。

ご近所を知り尽くした「OMOレンジャー」が情報を集めた「ご近所マップ」や熊本城を望む屋外の「凸凹テラス」がある3F「OMOベース」はHAB@熊本からESCで直結。一体感のある環境になっています。
ホテル室数：160室（地上3階～11階）

